

私は歌人ではないが、母は初心の歌人だった。その母と何回も短歌フォーラムに出席した。フォーラムの投稿数は第一回の十五首から少しづつ増え、本年は三千首弱。全国大会に相応しき規模となり結構だと思っております。ただ、気になるのは、近年その投稿数が頭打ちか減少傾向にあるところです。数がすべてではなくて、評価の客観的材料になります。実行委員会の構成を知る立場はないので、軽々に論ずるのはできませんが、この実行委員会に民間から短歌の実作者を含めてそれぞれの分野の方々の参加を願い、その知恵を吸収することができないものだらうか。人は群れると言いたい放題ですが、事務局の負担は増えて、その中から新しい知恵が出てくるだらうし、方向も見えてくると思います。



北小野
利彦さん

辰野

辰野</